

(注)
張無垢云、「某見人家子弟醇謹及俊敏者、
愛之不啻如常人之愛宝、唯恐其埋没及
傷損之、必欲使之在尊貴之所。故教人家子
弟、不敢萌一点欺心。」

(周煇『清波雜誌』による)

問 傍線部A「必欲使之在尊貴之所」について、(a)返り点の付け方と書き下し文、(b)その解釈として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

(a)

- ① 必欲_レ使_レ之_ニ在_ニ尊貴_一之_一所
必ず之を使はんと欲するは尊貴の在る所なり
- ② 必欲_レ使_ニ之_ニ在_ニ尊貴_一之_一所_一
必ず之をして尊貴の所に在らしめんと欲す
- ③ 必欲_ニ使_ニ之_ニ在_ニ尊貴_一之_一所_一
必ず使ひの尊貴の所に在らんことを欲す
- ④ 必欲_ニ使_レ之_ニ在_ニ尊貴_一之_一所_一
必ず之を使ひて尊貴に在らんと欲するの所なり
- ⑤ 必欲_ニ使_ニ之_ニ在_ニ尊貴_一之_一所_一
必ず欲して之をして尊貴に在らしむるの所ならん

(b)

- ① 必ず教え子を高い地位につかせてやりたいと思う。
- ② 必ず教え子を高官のもとに派遣したいと思う。
- ③ 必ず教え子を皇帝の役に立つ人物にしたいと思う。
- ④ 教え子をなんとかして出世させたいと思った結果である。
- ⑤ 教え子に正しい教育を施してやりたいと思う理由である。

(注)
1 張無垢——人名。
2 醇謹——素直でつつしみ深い。

解答

(b)	(a)

古人有^レ云^{ヘル}「常^ニ善^ク救^フ人^ヲ、故^ニ無^{シト}棄^{レル}人^ヲ。」且^カ大丈夫之^{ケル}於^レ学^ニ也、固^{モトヨリ}欲^フ遇^ニ神聖之君^ニ、得^{シト}行^フ其^ノ道^ヲ。思^フ天下^ノ匹夫匹婦有^ル不^レ被^ラ其^ノ沢^ヲ者、若^シ己^ノ推^{シテ}而^テ内^ニ之^ガ溝^ノ中^ニ能^ク及^{ボス}小大^ノ生^民者、固^{ヨリ}惟^タ相^ノ為^ス然^{リト}。既^ニ不^レ可^{カラ}得^ル矣、夫^{ソレ}能^ク行^フ救^フ人^ノ之^ハ心^ヲ者、莫^シ如^シ良^ク医^ニ。

(呉曾『能改齋漫録』による)

(注)

生民——すべての人々。

問 傍線部A「思^フ天下^ノ匹夫匹婦有^ル不^レ被^ラ其^ノ沢^ヲ者、若^シ己^ノ推^{シテ}而^テ内^ニ之^ガ溝^ノ中^ニ」の解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 天下の人民一人でもその恩沢に浴さない者があれば、自分がその人間を溝の中へ突き落としたかのように思う。
- ② 天下の人民一人でもその恩沢に浴さない者があれば、自分がその人間に溝の中に突き落とされたかのように思う。
- ③ 天下の人民一人一人が互いに恩恵を与えあわなければ、自ら進んでその人間を溝の中に突き落としたかのように思う。
- ④ 天下の人民一人一人でもその恩沢に浴さない者があれば、わが身に押し量って自分が溝の中に落ち込んだかのように思う。
- ⑤ 天下の人民一人一人が互いに恩恵を与えあわなければ、彼ら自身押しあって、溝の中に突き落としているかのように思う。

解 答